

月	火	水	木	金
				1 1歳 身体測定 13時4月予約更新
4 0歳 身体測定	5	6 2歳 身体測定	7	8 1歳 おはなしサロン
11 0歳 身体測定 おはなしサロン	12	13 2歳 お誕生日会	14	15 1歳 お誕生日会
18 0歳 身体測定 お誕生日会	19	20	21 妊婦さん サロン	22
25	26	27	28	29 5月つぼみだより更新

3月の予約更新は
2月1日（木）13：00頃です。

おもちゃの取り合い

3歳児Aちゃんが好きなお人形を2つ横に置いて絵本を読んでいたら、1歳児Bちゃんが1つのお人形を取っていききました。それを見たAちゃんは、鼻を鳴らしながら体を揺すり保育士の方を見て「返して！私が使ってた～」と助けを求めています。

それをみたBちゃんは、同じように鼻を鳴らし体を揺すってお人形を手から離しません。（1歳児の真似る力はスゴイ！！）

少し様子を見守りましたが、2人は顔を突き合わせ、お互い平行線のままです。そこで2人の傍に行き、保育士「Bちゃんに違うお人形を持って来て交換してもらったら？」（提案①：1歳児はあまり執着がないのでここで返してくれることもあります。）

けれど、Bちゃんに違うおもちゃを渡してもヤダヤダと体を揺すっています。

そこで、保育士は提案してみました。「Bちゃんは、なんでもAちゃんの真似をするんだね。それなら、この人形もどうぞ！と渡してみたら？」

Aちゃんにしてみたら、これを手放したら自分の手元にはお人形がなくなってしまうです。

けれど、Aちゃんは保育士の提案にそっとお人形を差し出しました。すると、Bちゃんは手に持っていた方のお人形をAちゃんに差し出したのです。その瞬間、2人の間に笑顔が溢れました。そして少し経つとBちゃんは違うおもちゃに気が移り、その後Aちゃんは2つのお人形でじっくり遊んでいました。



保育士はAちゃんに「よく先にお人形を貸してあげられたね。それはお姉さんにしかできないことなんだよ。でも先にどうぞと言ってあげるとAちゃんにもどうぞと言ってもらえるんだね。」と話しました。

もしここで「Bちゃんは小さいから～」とか「これはお姉ちゃんのものだから」と2人から取り上げていたらどうなっていたでしょう？

その後、グズグズが続くのは明らかですね。笑
そしてそれを回復させるのにもエネルギーが必要になります。

けれど、働きかけによってAちゃんは与えることは失うことではなく与えることは与えられることを体感できました。そして与えることができるのはお姉ちゃんだからできること。お姉ちゃん是我慢する…のではなく、我慢を通して成長できる喜びを子どもなりに味わうことができました。

Bちゃんは優しくされたことこの経験が重なること他の人にも優しくできること

どちらにとってもプラスに働くことになりました。

いつもこのように子どもが反応するとは限りません。けれど、様々な言葉のかけ方によって心の成長を促すことはできます。小さな日々の積み重ねはやがて人格形成に大きな違いをもたらすと思うのです。きょうだいやお友達同士でおもちゃの取り合いについて事前に想定してみるといいですね。